

【令和7年度小学校おすすめ本リスト】

分類	書名	コメント	編著者名	出版社	出版年	価格(税込み)
007	わたしは書体デザイナー みんなの「読める」をデザインしたい	UDデジタル教科書体について書かれた本。書体やフォントなどの図書が少なかったため購入。ユニバーサルデザインについても記載があり、5年生の学習でも使用できそう。	高田裕美/著	Gakken	2025	¥1,760
031	まいにち知育クイズ366 もっとまいにち知育クイズ366	1日1ページ、いろんなジャンルを集めたクイズの本。朝の会や授業のすきま時間などの場面で先生がパッと使えるかと思って購入。意外とみんなで盛り上がり、特別支援学級のクラスでも重宝したとの感想あり。	高濱正伸/監修	日本図書センター	2023 2025	各¥1,760
141	10歳から知っておきたい 「自分で決める力」の伸ばし方	自分で決断する力を学ぶ本。 主人公と一緒に高学年にありそうな問題について考え判断をしていく。	鳥原隆志/著	日本能率協会 マネジメントセンター	2024	¥1,760
146	にぼしとかつおのこころあんしん絵本	日常の中で起こるいろいろなシチュエーションに対する気持ちのコントロールを考える本。自分と相手両方の気持ちを考えてみよう、という書き方で、子ども同士だけでなく子どもと大人の間でのやり取りも書かれています。	くまみね/絵 本田恵子/監修	ポプラ社	2025	¥1,540
289	やさしく読めるビジュアル伝記シリーズ (2025年11月現在 23巻刊行)	4年生のリクエストで他校から借りましたが、5年生での伝記の学習につながると思い、シリーズで購入しました。低・中学年の伝記への入口になるだけでなく、読むのが苦手な高学年にも好評です。		Gakken	2018 ~ 2025	各¥1,430
290	もっと知りたい!イマドキ韓国ナビ	子どもたちが知りたいような今どきのポップな韓国カルチャーが書かれているため高学年女子に人気。今どきの情報だけでなく、伝統的な韓国文化についての記載もあり。	朴倍暎/監修 株式会社エディット/編著	金の星社	2024	¥4,620
302	もしも君の町がガザだったら	テレビのニュースで毎日のように話題になっているパレスチナ問題について、子どもたちにも興味をもってもらいたくて購入しました。少しレベルは高いのですが、紹介したら読んでくれるかなと・・・。	高橋真樹/著	ポプラ社	2025	¥1,980
361	正しく疑う 新時代のメディアリテラシー	インターネットの功罪を深く掘り下げているだけでなく、いろいろなメディア(テレビ、新聞、本、雑誌など)がどのようにつくられているかも書かれていて、情報との向き合い方を考える上で参考になると思いました。6年国語にも関連。  情報関連のことを図式で分かりやすく解説しており、6年国語「デジタル機器とわたしたち」で使えます。大人も読んで知っておきたい内容です。	池上彰/監修	Gakken	2025	¥1,650

361	毎日がもっとキラキラする! はじめての推し活	「推し活」という入りやすいテーマから、著作権やお金のことなど学べてよい。	劇団雌猫/著 松下真由美/部分監修	高橋書店	2025	¥1,210
368	どっちを選ぶ? クイズで学ぶ!こども防犯サバイバル 全3巻	わかりやすいイラストやクイズで、どのように行動したらよいかの知識を得る本。 シリーズに「自然災害」、「感染症」、「インターネット」、「食物アレルギー」あり。	国崎信江/監修	日本図書センター	2024	各¥3,300
369	もしも明日、ぼくの足がなくなったら	足を失い、義足や車いすを使うようになった五人のノンフィクション。自分だったら・・・と考えながら読んでしまいました。高学年の読書感想文や4年総合の福祉で紹介したいです。	舟崎泉美/著	Gakken	2025	¥1,430
383	知ると楽しい!すしのすべて	お寿司の本が好きな児童がいるので購入。寿司の歴史や郷土の寿司も紹介されています。石川の郷土寿司は押し寿司が載っていました。	「すしのすべて」編集部 /著	メイツユニバーサル コンテンツ	2025	¥1,980
383	くさい食べ物大図鑑	ハンディ版。「ふぐの卵巣のぬか漬け」「いしる」の紹介があり、石川の郷土料理についての調べ学習にも使えるかも。	前橋健二/監修	金の星社	2024	¥1,320
407	そうだったのか! 身近なもののはかり方図鑑 ビジュアル解説!	長さの学習をした学年が興味をもっていた。	「そうだったのか! 身近なもののは かり方図鑑」編集 委員会/編集	文研出版	2021	¥4,180
410	さわって学べる算数図鑑	特別支援学級の先生からの依頼で購入。 計算や図形・展開図、分数が仕掛け絵本になっているので理解しやすい。	朝倉仁/監修	Gakken	2015	¥2,750
440	星空写真家 KAGAYA 月と星座 月	6年理科「月と太陽」、中秋の名月の展示で使用。写真が美しく、月食などのデータも新しい。天体観測や撮影のアドバイスも書いてあり、夜空を見上げるのが楽しみになる1冊。	KAGAYA/写真・監修 山下美樹/著	金の星社	2025	¥3,520
458	身近な石をおもいっきり楽しむ図鑑	石はどうやってできるの?、川辺の石と宝石は同じもの?などの疑問を解説。川辺や海辺、山などで石を集めて楽しむためのヒントも。「宮沢賢治の石コ賢さん」「ジオパーク」についてのコラムあり。	柴山元彦/著	ナツメ社	2025	¥1,650
480	数字でみる動物図鑑	生き物好きにピッタリ!な1冊です。	リチャード・ミード/著	創元社	2025	¥3,850

489	まぼろしの動物ニホンオオカミ 小学生、なぞのはくせいの正体を追う	調べ学習コンクールをきっかけに、小学生の小森日菜子さんが、新たにニホンオオカミのはく製を発見した過程が書かれた本。テーマがニホンオオカミで、興味のある児童が多く、装丁も手に取りやすいので、読んでもらいやすい。探求・研究の楽しさが伝わってきます。	たけたにちほみ/文 川田伸一郎/監修 坂口友佳子/イラスト	Gakken	2025	¥1,650
489	ともに生きる 山のツキノワグマ	ツキノワグマを大きく写している写真絵本。クマと人との関係について考えさせられる本。アリス館の写真絵本『いのしし』の著者です。	前川貴行/写真・文	あかね書房	2024	¥1,650
489	とらのこ 「ほぼねこ」なホワイトタイガーの赤ちゃん写真集	ネコ科のデカモフ猛獣写真集。伊豆アニマルキングダムにいるホワイトタイガーの赤ちゃんです。	RIKU/著	辰巳出版	2025	¥1,650
491	聞くのが楽しくなる耳のひみつ	“聞こえる”って、どういうこと？耳の役割やそのしくみはどうなっているの？耳のひみつを教えてください。調べ学習にも使える1冊です。シリーズで『目のひみつ』『睡眠のひみつ』もあります。	今泉忠明/監修 植木美江/絵	創元社	2025	¥2,750
519	いちからわかる環境問題シリーズ ①食糧問題②水問題③気候変動 ④ごみ問題⑤生物多様性	届いてみたらサイズが小さい本(16×23cm)で驚いたが手に取りやすい。一問一答で、解説・図・資料等がすっきりと見やすくわかりやすい。	松下和夫/監修	さ・え・ら書房	2025	各¥1,980
588	科学でわかる!おいしさのナゾ おかしなヒミツ研究所	うまい棒・きのこの山・パピコなどなど実在する超人気おかしについて、その美味しさのわけを開発者&研究者に調査。企業秘密もちょっと載っています。リアルなイラストにも注目。	3時のおやつ科学機構/著 イワタニユウスケ/イラスト	えほんの杜	2025	¥1,650
596	1年生からのらくらくレシピ+全4巻	小学1年生からでも作れる簡単な料理を紹介しているレシピ集。ふりがなもあり、見開き1ページでレシピが紹介されていて見やすい。シリーズに『1年生からのらくらくレシピ(スイーツレシピ)』あり。	若宮寿子/監修	文研出版	2024	各¥3,300
597	捨てられないずかん	学校の机の中、作った作品、思い出の品…。子どもだけではなく、大人も片付けや断捨離に困ってしまうあれこれについて、活用方法や片付け方のヒントが詰まった1冊。	米田まりな/著	大和書房	2025	¥1,760
645	動物愛護ってなに？	動物との共生を目的とする動物愛護管理法を軸に、動物や、身近なペットとのつきあい方について考える本。殺処分についてや、具体的なペットについての費用、世話にかかる時間などについても書かれている。	浅川千尋/監修	PHP研究所	2021	¥3,520
645	いぬほん 一犬のほんねがわかる本一	「最先端の研究に基づいて犬の心理を大解剖。」(アマゾン書評より) 4コマまんがで読み易く、解説もきちんと書かれている。	道雪葵/マンガ 今泉忠明/監修	西東社	2020	¥1,100

645	もっとよくわかる犬種図鑑 ミックス犬100種 特徴から飼い方まで	めずらしいミックス犬の図鑑。	奥田香代/著	メイツユニバーサル コンテンツ	2023	¥1,859
673	コンビニから社会をさぐる(全3巻)	5年社会「情報を生かす産業」でコンビニの販売・流通等での情報活用の学習用に購入。自学や調べ学習にも使えそう。	吉岡秀子/著	鈴木出版	2024	各¥3,850
673	コンビニから社会をさぐる ①コンビニのデジタル化が止まらない!	5年社会「情報を生かす産業」で使える。他の巻も読みたいという子どもたちがいて他校からお借りした。	吉岡秀子/著	鈴木出版	2024	¥3,850
687	くらしをささえる乗りもの 飛べ!山小屋ヘリコプター	自校の隣にある駐車場には年に何度かヘリコプターがやってきます。大きな袋をぶらさげて白山に向けて飛んでいく大きな荷物が何なのか、どんな仕事をしているのか子どもたちの「？」が「！」に変わるかなと購入しました。	星野秀樹/写真 池田奈津美/文	新日本出版社	2024	¥2,760
750	授業でつかえる うごくおもちゃの作り方(全3巻)	小学2年国語「おもちゃの作り方を説明しよう」のために慌てて購入。ほぼ教科書のままの文章でわかりやすい。昨年度のものが入っている学校が少なかったため。	岩穴口康次/ 監修・製作	汐文社	2024	各¥2,860
797	楽しいトランプ	ババ抜き、大貧民、セブンブリッジなど、トランプ遊びのルールと勝ち方を、写真やイラストでわかりやすく解説した本。	C.L.トランプマイスター/著	メイツユニバーサル コンテンツ	2024	¥1,595
798	クリアせよ!スパイめいろ	小学生向けに購入したが、後半になるにつれ難易度が増していくので、中学生でも苦戦していた。「レーザーの反射する角度でしかその道は進めない」といった凝った内容の迷路もあり、年齢問わず楽しんでいる様子。	サム・スミス/文 バレリア・ダニロヴァ/ 絵	あかね書房	2023	¥1,980
814	「自分の気持ち」を表すことば図鑑	子どもたちに語彙力がつけばいいなと思い購入。「よろこびの森」など感情ごとに章分けされていて、分かりやすい。大人でも使い方に迷ってしまう言葉を解説してある。	ひしたよしあき/著	大和出版	2025	¥1,870
910	宮沢賢治の鳥	賢治のどの作品にどんな鳥が登場しているかを、細密画と文章でつづっています。6年司書教諭の希望で購入。授業でつかっていました。	国松俊英/著 館野鴻/イラスト	岩崎書店	2017	¥1,870
911	じんせいししがみついてなんぼです	小学生向けの生き物の詩集。 ひらがな・カタカナで書かれているので低学年から読める。 「コアラ」の詩は5年生の詩でも使えそう。	木坂涼/詩	フレーベル館	2025	¥1,870

913	おとなになりたくないわたし	第二次性徴で体の変化にとまどう中学生女子。蔵書として迷ったが、悩む子がいれば読んで気持ちを楽しんでもらいたくて購入。絵がかわいいので女子はよく手に取ります。	夜野せせり/著	ポプラ社	2024	¥1,760
913	読書感想文が終わらない!	読書感想文は書かねばならぬもので型やパターンなど技術的にとらえがちでしたが、読書から得たものを感想文という形でアウトプットすることで、自身の感情を見直し、整理することが出来るという良さがあると伝わってきた作品。	額賀濤/作 satsuki/絵	ポプラ社	2025	¥1,760
913	青の王	魔族が人間に支配される国ナルマン。少年ハルーンは塔に閉じ込められた少女を助けて…。ファンタジーのブックトークで紹介したら一番人気でした。青・赤・白でナルマン三部作になっています。	廣嶋玲子/著	東京創元社	2017	¥1,980
913	スタートライン 風のなかへ	運動会やスポーツの秋に向けての1冊として購入。運動の苦手な4年生男子が駅伝に挑戦する。親友がライバルとなり葛藤しながら成長する物語。中学年の感想文の本としても良さそう。	本田有明/作 酒井以/絵	金の星社	2025	¥1,540
913	日下部くんには日傘が似合う	クラスのちょっと不思議な男子、日下部くんがある日、フリフリのかわいい日傘をさしてきた。この出来事をきっかけにした、クラスメイトたちの気持ちの変化の話。	神戸遙真/作	あかね書房	2025	¥1,430
913	ひろしま絵日記	二年生のみなみちゃんがひいおばあちゃんのふみこさんの家で見つけた絵日記。それはふみこさんの妹のまあちゃんのものだった。ふみこさんと一緒にページをめくりながらまあちゃんの日常から伝わる戦争のこと。中澤さん・ささめやさんコンビによる「ひろしまの満月」も同時購入。どちらも、幼い子が日記やカメに聞いたお話から間接的に戦争にふれる物語。感想文にも良いかも。	中澤晶子/作 ささめやゆき/絵	小峰書店	2025	¥1,430
913	とけるとゾッとするこわい算数	「算数×こわい話×謎解きをミックスした、意味が解るとゾッとするショートストーリー集。」(ポプラ社より)	小林丸々/作 亜樹新/絵	ポプラ社	2023	¥803
913	31センチの約束	小学4年生のサラとゆいは親友。ある日ゆいに白血病が見つかり、闘病生活に…。そしてサラはヘアドネーションを知る。しかし、サラのバレーボールのクラブチームには、髪を伸ばしてはいけないルールがあり…。巻末には子どものがんとヘアドネーションについての解説ページあり。読書感想文向け。	嘉悦洋/文 ながん/絵	西日本新聞社	2021	¥1,320
913	へのへのかっぱせんせいシリーズ	「なぞなぞ」「迷路」「だじゃれ」などがあり、低学年男子に人気のシリーズ。あまり本が得意ではない子どもでも楽しめる漫画に近い本。既1~8巻。	櫻本学ヴ/さく・え	小学館	2019	各¥1,078
913	ぼくのたった一つのミス(全3巻)	タブレットやスマホ、ゲーム、ネットに早期に触れる子どもたちに向けて、ショートショートで各巻15話収録。小学校高学年から。TRCは547だが、本校では913で登録。	藤白圭/作	岩崎書店	2025	各¥1,650

913	3分間で恋したくなる	すべての漢字にふりがながついている。	夕貴そら/著	ポプラ社	2023	¥1,100
913	休み時間で完結 パステルショートストーリーシリーズ	読書が苦手な高学年用の児童用にとシリーズの中の4冊を購入しました。中学年でも読めます。子どもたちの興味のある短いお話ばかりです。		国土社	2022~	各¥1,210
913	どろぼうジャンボリ	低学年から。少し変わった様子のどろぼう「ジャンボリ」が集めているのは、人が書き損じた手紙。ある日、町長が手紙の禁止令を出して…。心にじんわりと響くおはなし。絵もかわいく、高学年からも人気の本。	阿部結/作	ぽるぷ出版	2025	¥1,540
913	うちのクラスに天才子役 (短編小学校neol)	クラスに転校してきたのは天才子役の小路くん。 15の短いお話で構成されていて読みやすい。クラスメイトたちが小路くんとの出会いで変化していく。表紙も目を引くため高学年女子に薦めると手に取ることが多い。  6年A組の転校生は、超人気俳優。“あの子”にまつわるクラスメイトたちの15の話。それぞれが芸能人に対して持つイメージを持っていたが、接していく中で変わっていく。最後の本人の章で集約される感じ。	吉野万理子/作 satsuki/絵	静山社	2025	¥1,320
913	中受 12歳の交差点	中学受験がテーマの物語。 スクールカウンセラーの先生からのおすすめで購入。子どもたちの心情がリアルに描かれていて、受験に挑む子、保護者、教職員にもぜひ読んでほしいとおすすめされていました。	工藤純子/著	講談社	2025	¥1,650
913	おれたちはギロンする	大人になった自分が、つい言ってしまうようなちょっとした言葉や教え。反論されたら正しく答えられるでしょうか。読みながら考えさせられ、忘れがちな「子どもの視点」にハッとさせられます。	安田夏菜/作	静山社	2025	¥1,540
913	先生!おかわり禁止ってへんじゃない?	「わすれ物をしたら、給食のおかわり禁止」「おたんじょうび会禁止」…。学校のへんなきまりについて、学級会で話し合うことにした春斗たち。きまりをなくすことは、できるのか?「ルール!」の小学生版。どうして決まりが必要なのかなどちゃんと考えて話し合っている。	麻生かつこ/作 イシヤマアズサ/絵	金の星社	2025	¥1,540
913	地球一家が、おじゃまします	ごくふつうの地球人一家が、地球によく似た「第二地球群」をめぐる旅に出た。でも、行く先々の星で出会う人々やその習慣、価値観は、ちょっと変わっていて…。アンコンシャスバイアスについて考えさせられる短編集。	トナミゲン/著 カシワイ/絵	Gakken	2025	¥1,210
913	まるみかん大一番	丸美市立みんなの図書館「まるみかん」。ある日突然閉館することに。小6の研心ら、利用者たちは、閉館を止めるために力を合わせて声をあげ…。図書館はどうして必要なのか、を考えさせてくれる物語。	まはら三桃/作	小学館	2025	¥1,760

E	あしたは生きてい いのちをすくういぬ	「おいらにあしたはないかもしれない」必要とされず、愛されなかったちいさな犬は、処分寸前で助けられ、災害救助犬となる。地震でこの犬に助けられる人間の気持ち、保健所にいるときの犬の気持ちと重なる。	もりのきつね/文 はせがわゆうじ/絵	実業之日本社	2025	¥1,980
E	あの、ここどうぞ。	電車に乗って、勇気が出ずになかなか席を譲れない女の子は…。いろいろな人がいること、マタニティマークやヘルプマークについてもわかる。	くすのきしげのり/作 こがめたく/絵	偕成社	2025	¥1,540
E	ありがとうなかよし おしえてなかよし	低学年か特別支援学級の先生から「シンプルに友達の大切さを伝える本」ということで購入。本当に短いお話だが、こういうのもあっていいかもと。	しもかわらゆみ/作	講談社	2022 2024	各¥1,430
E	そらめくのごめんない		なかやみわ/さく	小学館	2023	¥935
E	ある星の汽車	様々な生き物がたくさん乗った汽車。しばらくすると乗客は次々と降りていき、降りた駅には四桁の数字。このまま乗客は全員いなくなってしまうの…？絶滅動物を描いた絵本。	森洋子/著	福音館書店	2025	¥1,980
E	色がきこえるおんなのこ	音をきくと色がみえる共感覚をもつ女の子ジリアンは、ある日学校でお弁当が床に落ちた音を「黄色」といったことから友だちに笑われて…。多様性を受け入れ、尊重することの大切さ。人権週間に。	マリー・ハリス/文 ヴァネッサ・ブランド リー＝ニュートン/絵 日高杏子/訳	玉川大学 出版部	2025	¥1,980
E	えいきゅうしちゃん	「にゅうしちゃん」のシリーズ作。タイトル通り、今回は永久歯がテーマです。今回はかなり文章の量が増えていました。永久歯が折れてしまったときの処置なども書いてあります。	minchi/作・絵	岩崎書店	2025	¥1,430
E	おかねってなんだろう	絵本でわかりやすく解説！ほかにも「こころ」「みらい」「しごと」があります。	細川貂々/作・絵	講談社	2025	¥1,980
E	きょうりゅうゆうえんち	とにかくたくさんの恐竜がでてきます。全部に恐竜の名前が出ています。お話を楽しむのはもちろんですが、今以上に恐竜に興味を持ってもらえたらと思います。	やましたこうへい/ 作・絵	ポプラ社	2023	¥1,870
E	ギリギリオニギリーズ	おにぎりには見えないけど、実はおにぎり。そんなギリギリおにぎりを発掘！「米粉パン」や「きりたんぼ」は、果たしておにぎり!?	玉田美和子/作	白泉社	2025	¥1,430

E	クジラがしんだら	深い海の底でおこる命のドラマ、ひとつの命の終わりが、他の命の糧になっていくことが、わかりやすく描かれています。低学年だけでなく高学年も借りていく絵本です。	江口絵里/文 かわさきしゅんいち/絵	童心社	2024	¥1,980
E	くだものはな なんのはな?	『やさいのはななんのはな?』が読み聞かせて大好評だった。「かがくすっ」のシリーズはどれもおすすめ。	宮崎祥子/構成・文 網野文絵/写真	岩崎書店	2025	¥1,540
E	こまったこまった。 チームワークがなくなった。	あれもこれもダメといたり、自分の考えを一方向的に押し付けたりするのではなく、広く意見を聞くことや協力の大切さがわかる。	和泉純子/作 和田武訓/作 Steullet Alexander/訳 sizutarou/絵	サイボウズ	2019	¥550
E	少年とクスノキ	小説『クスノキの女神』から生まれた絵本です。少年が自分の未来を見たいとクスノキの女神にたのみます。でも見せてもらった未来の姿とは……。人生で何がもっともだいじなのかをおしえてくれるお話です!!	東野圭吾/文 よしだるみ/絵	実業之日本社	2025	¥1,980
E	しりとりのかにのおうさま	しりとりやまのドラゴンにさらわれた隣の国のお姫様を救うために、しりとりのかにの王様が立ち向かいます。「やかん」「さぼてん」「ドラムかん」・・・「ん」のつくものしか出さないドラゴンの攻撃に苦戦する王様。1・2年の読み聞かせに。	こすぎさなえ/作 たちもとみちこ/絵	PHP研究所	2021	¥1,540
E	タケシのせかい	三兄弟の末っ子タケシはお父さんがこっそりかくしてあるひみつの箱を開けると、お父さんからの質問の紙が入ってて…。ウェルビーイング（一人一人の個性が尊重され、生きやすい世界）を子どもたちにわかりやすく書かれている絵本。道徳、人権週間に役立ちそう。	室井滋/文 長谷川義史/絵	アリス館	2024	¥1,650
E	ちょうおもしろい	腸のお話です。体の仕組みに興味をもつきっかけにもなる絵本です。ストレスなどで調子が悪いと、腸の動きも悪くなるということも教えてくれます。	あわたのぶこ/作 はたこうしろう/絵	フレーベル館	2024	¥1,540
E	とびません。	ペンギンは空をとびません。仲間の鳥が誘っても、飛行機に乗ったゴリラや気球に乗ったパンダが現れても…。『なまけていません。』『うごきません。』のコンビのユーモア絵本。この『とびません。』が一番うけた。ページをめくるたびに「とびません!」の大合唱。	大塚健太/作 柴田ケイコ/絵	バイインターナショナル	2023	¥1,485
E	なんでやねん	最近の読み聞かせて重宝している1冊。1・2年・特別支援学級に大ウケ。繰り返しててくる「なんでやねん」を一緒に言い出す。「なんでやねんはどこですか」と聞く1年生多数。続編もよく借りられていく。	中川ひろたか/文 あおきひろえ/絵	世界文化社	2013	¥1,430
E	なっちゃんの声	なっちゃんは、おうちでは話せるのに、学校ではどうしても声がでません。場面緘黙を理解するための絵本。医学解説付き。	はやしみこ/文と絵	学苑社	2011	¥1,760

E	バナナいつたべる？	バナナはいつ食べたらいいのだろう？と悩み周りに聞くと、人それぞれの答えが……。図書館で調べたり、悩んだりしながらも最後は自分なりの答えにたどり着きます。	まきのみそら/ 作・絵	ひかりのくに	2025	¥1,650
E	ハリー・ポッター ホグワーツのクリスマス 『ハリー・ポッターと賢者の石』より	ハリーがホグワーツでむかえたはじめてのクリスマスの一場面がイラストで楽しめます。	J.K.ローリング/著 ガオ・ツイイー/イラスト 松岡佑子/翻訳	静山社	2024	¥3,960
E	パンパンパンパンパンダパン	e-honで表紙を見て、思わず注文。『いもむしパン』とか『ひつじパン』とかと同じような絵本です。新刊で出したら一番に借りていきました。	ささきみお/作	国土社	2022	¥1,650
E	100このたまご	ネズミのシェフのモリーが、王様からのお願いで100個のたまごを使って料理をする絵本。使っているたまごの数が常に下に載っていて、算数えほんのようなお話です。	ももろ/作	マイクロマガジン社	2025	¥1,430
E	ピーマンマンとてんさいむしばキン	「ピーマンマンシリーズ」が低学年に人気なので購入。6月 歯と口の健康週間にもおすすめ。	さくらともこ/作 中村景児/絵	岩崎書店	2025	¥1,595
E	ひかりのぼうけん	昨年度の保管転換で受け入れ。小3年道徳「泣いた赤おに」の「友情をえがいた本」の関連読書のうちの1冊で紹介。こわがりのコスモを、女の子のベティが優しく先導する。絵もあたたかみがあり、読了後、ほっこりする。	マリー・ヴォイト/作・絵 俵万智/訳	岩崎書店	2020	¥1,540
E	みんなのあのね	何をして遊ぶか相談している3人。虫探し、きのぼり、かくれんぼを提案するけれど、それぞれ3つの遊びに苦手なところがある。そのことをお互いに伝えて、新しいあそびを考え出す。多様性を考える絵本。	はまのゆか/著 佐々木裕子/監修	めくるむ	2025	¥1,980
E	やせいのロボット むじん島のロズ	どちらも絵が(特に色使いが印象的)ステキでお話も癒される系。相手をおもいやるやさしさが伝わる。	ピーター・ブラウン/作 まえざわあきえ/訳	小学館	2025	¥1,980
E	もりやまさんとまちやまさんは		にしかわなおこ /作・絵	教育画劇	2024	¥1,650
E	やなせたかし物語 なんのために生まれてなにをして生きるのか	5年生国語「やなせたかしーアンパンマンの勇気」のやなせたかしのいろいろな伝記のバージョンとして、使えるかなと購入。	やなせスタジオ /作・絵	フレーベル館	2025	¥1,450

E	山のフルコース	お話給食で知ったこの作家さんの絵本は、食べものがおいしそうです。この絵本でも、山と自然を食材に見立てた大胆な発想で、五感を刺激してくれます。	はらぺこめがね/作	小学館	2024	¥1,870
E	ゆびでたどる進化のえほん	生物の進化の過程を指でたどりながらどんな生き物がつながっているのかを知ることが出来る絵本。	三上智之/監修・文 かわさきしゅんいち/絵	KADOKAWA	2025	¥2,090
E	よくみると・・・	絵の中にある一つの違いを見つける絵本です。 シリーズ3冊あります。	shimizu/作・絵	学研プラス	2023	¥1,430